



# 地域学校協働活動だより

令和5年12月12日発行 福島県教育庁県北教育事務所

## 地域の伝統工芸を子どもたちに伝える

訪問日:令和5年9月14日(木)

講師:「つる工房」

場所:大玉村立大玉中学校

本多 久夫さん

内容:第2学年 美術科「麦わらによる虫かご作り」



大玉中学校では毎年2年生が、美術科の学習で大玉村の伝統工芸品である「虫かご」作りを行います。1回目は本多さんの話を聞いた後、広告紙よじり作りをし、2回目は広告紙よじりを使っての虫かご作り、そして3回目に本物の麦わらを使っての虫かご作りを行います。

訪問した日は広告紙よじりを使っての虫かご作りに挑戦していました。地域のボランティアの方も事前に本多さんから講習を受け、子どもたちに熱心に作り方を教えていました。

## ボランティア要請はLINEを活用!!



コーディネーター

大玉村では学校からの学習支援要請があったら、ボランティア登録をしている地域の皆さんに業務用 LINE でお知らせをします。出席は事務局だけが分かるようになっています。

支援要請→LINEで募集→決定通知書送付 (LINEのチャットを活用)



自分の手で物を作ることや、失敗から学ぶことの大切さを子どもたちに伝えたいです。

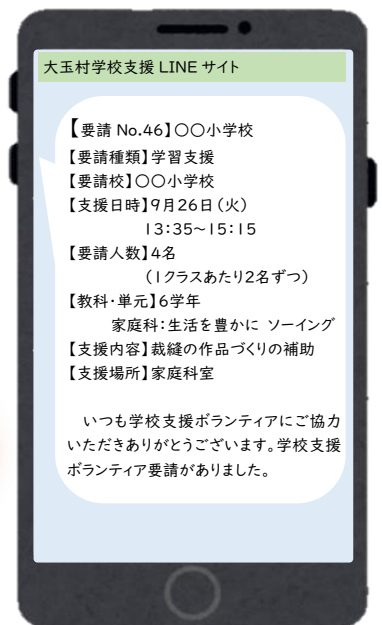


講師の本多さん



### 【子どもたちの感想】

- ・本物のわらで作るのが楽しみ。
- ・地域の人力があってこそ学べるものがたくさんあると思った。
- ・伝統的なことが学べてよい。
- ・大玉で学んだこととして自信をもって言いたい。



依頼

LINEのほうが、いつでも内容確認ができ、都合に合わせて気楽に参加できます。



学習支援ボランティア

大玉村のコーディネーターの方は、地域の方との信頼関係を大切にしているそうです。良好な信頼関係を築くために地域の方と気軽に話ができる雰囲気作りをしたり、講師の方にはできるだけ直接会って話をしたりするようにしているそうです。また、「地域の様々な人と出会い、つながりができたり、地域のよさに改めて気付くことができたりして楽しい。」と話していました。大人になってから自分の住む地域のよさを再発見!素敵ですね。